

市民ワークショップ in Kashiwa

結果報告書



令和2年3月

柏市

目次

1. 市民ワークショップの概要.....	1
1-1. 実施概要.....	1
1-2. 当日の進め方.....	2
2. ワークショップの進行.....	3
2-1. SIMulation2030.....	3
2-2. ワークショップ.....	8
2-3. アンケート結果.....	14
3. ワークショップの資料.....	22



1. 市民ワークショップの概要

1-1. 実施概要

①目的

第五次総合計画後期基本計画の策定にあたり、市民の皆様の様々な意見やニーズを把握し、市民と行政の相互理解を促し、実行性ある計画とするために開催しました。

対話型自治体経営シミュレーションゲーム*を通じて、自治体経営を体験し、ONE TEAM（ワンチーム）で柏の未来をつくろう！

※仮想自治体の運営を体験するカードゲーム。仮想自治体が直面する2030年問題（人口減少、高齢化による税収の減少や社会保障の増大等）に対し、自治体としてどのように課題を解決するか、チームメンバーとの対話を通じて「まちの未来」考える。



②ワークショップ参加者の募集方法

柏市在住の方から無作為に3,000人を抽出し、参加募集案内を送付しました。参加申込者99人に対し、当日は60人が参加しました。

③開催日時と場所

【開催日時】

2月16日（日）13:00～17:30

【開催場所】

アミュゼ柏 プラザ



1-2. 当日の進め方

当日のプログラム

参加者全員で開会・オリエンテーションを行い、第五次総合計画および柏市の財政について学びました。次にグループに分かれて、対話型自治体経営シミュレーションゲーム（SIMulation2030）による仮想自治体運営を体験しました。最後にワークショップを通じて、柏市の未来のまちづくりへの想いをグループ内で話し合いました。なお、グループは性別や年代を考慮して10グループとし、1グループ6人で編成しました。

時間（目安）	内 容
12:30～	受付・案内
13:00～ 13:45	(1) 開会・オリエンテーション 本日の進め方の説明 事前説明：「第五次総合計画について」、「財政講座」
13:45～ 13:55	休憩
13:55～ 16:50	(2) SIMulation2030 体験 ルール説明，ラウンド1・2・3を体験
16:50～ 17:00	休憩
17:00～ 17:40	(3) ワークショップ テーマ：柏市の重点目標を達成するために、これからの柏市に一番大切だと思うことは何ですか。
17:40	(4) まとめ・事務連絡 閉会



2. ワークショップの進行

2-1. SIMulation2030

①当日の進め方の概要

▶財政講座

柏市の「財政状況」と「今後の市政運営で必要なこと」を知るために、柏市の予算について、説明しました。



「財政講座の目次」

- ① 柏市の予算について
- ② 人件費について
- ③ 社会保障費（扶助費）について
- ④ 借金（公債費）について
- ⑤ 歳入について
- ⑥ まとめ

▶SIMulation2030の開始，ラウンド1・ラウンド2

グループごとに分かれ、参加者一人ひとりが仮想自治体（K市）の部長となり、各ラウンドで出される様々な課題に対して、対話を通じた政策判断を重ねていきました。各グループが仮想自治体の執行部（部長）と議員役に分かれ、グループ同士で模擬議会を行い、政策判断の説明や政策に対する理解を深めました。

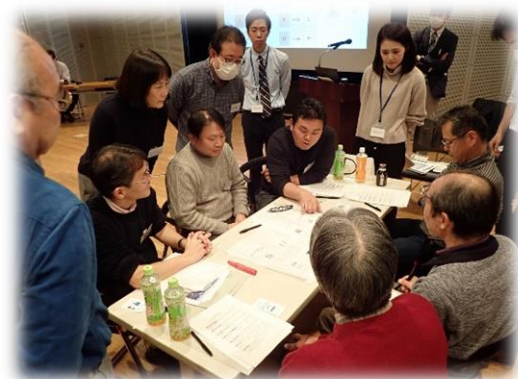
（ロールプレイや自己紹介の様子）



(グループごとの話し合いの様子)



(グループ同士で行う模擬議会の様子)



▶ラウンド3

ラウンド1、ラウンド2の振り返りを通して、それぞれのグループが、仮想自治体に対する「まちの強みや特性」を書き出し、「まちのキャッチフレーズ」を決めました。



②ラウンド3の結果

各グループでの仮想自治体に対する「まち強みや特性」「キャッチフレーズ」

グループA

《まちの強みや特性》 <ul style="list-style-type: none">・環境・社会基盤・安心・安全・こども未来・産学連携 ⇒住みやすい，教育も充実
《まちのキャッチフレーズ》 3K（くらし，環境，教育）（K市だけに）

グループB

《まちの強みや特性》 <ul style="list-style-type: none">・世界中の人が住みやすいまち・老若男女他が住みやすいまち・環境・社会を重視したまち
《まちのキャッチフレーズ》 住みやすくてすみません！

グループC

《まちの強みや特性》 <ul style="list-style-type: none">・多世代の人たちが安心して住める町
《まちのキャッチフレーズ》 赤ちゃんからお年寄りまでいきいきと住めるまち“K市”

グループD

《まちの強みや特性》 <ul style="list-style-type: none">・子育て・安全・環境・活力
《まちのキャッチフレーズ》 ★子どもからお年寄りまで笑顔がたえない，安全，安心に住める街 <ul style="list-style-type: none">・長く住んで安心安全な街・あなたが家庭を持つ街・キラキラ，ワクワク・子供の笑顔，大人は希望，老人（高齢者）は元気

グループE

《まちの強みや特性》	
<ul style="list-style-type: none">・安心・安全・健康・活力あふれる, 生き生き・笑顔, 民間, 居所, 市民主体・教育の充実	<ul style="list-style-type: none">・革新・伝統・皆が住みたい, 来て来て
《まちのキャッチフレーズ》	
来て・きて K市	

グループF

《まちの強みや特性》	
<ul style="list-style-type: none">・優しい・対応・良き環境	<ul style="list-style-type: none">・IT, 農業, ファッション・安全安心・シリコンバレー
《まちのキャッチフレーズ》	
ゆりかごから墓場まで (全ての世代が幸せにくらせる街)	

グループG

《まちの強みや特性》	
<ul style="list-style-type: none">・安心・安全なまち (AI, 防犯, よい道)・高齢者にやさしいまち (介護者にもやさしい)・魅力的な駅前	
《まちのキャッチフレーズ》	
全ての世代にやさしいまち	

グループH

《まちの強みや特性》	
<ul style="list-style-type: none">・人と機械を使い分けることで人をサポートする・人手不足なので, 人に代わる機械で補う・機械でできない部分を人でやる	<ul style="list-style-type: none">・効率化, ニーズの最大化を図る・生活環境の改善, 安全につとめる・若手にサポートできる環境づくり
《まちのキャッチフレーズ》	
“少子高齢化を見据えた街づくり” (子供, 健康, 介護, 安全を見据えた住みよい街づくりを目指す)	

グループI

《まちの強みや特性》

- ・ 経済・福祉・環境のバランスがとれた町
- ・ 高齢者，男女，外国人がいきいき暮らせる町
- ・ 駅前商業施設・図書館整備によるコミュニケーションが充実した町
- ・ 都市と自然の調和がとれた町

《まちのキャッチフレーズ》

- ・ ダイバーシティ・バランスとサステナビリティのまちK市
- ・ みんないきいき手賀沼（水辺空間）のある街

グループP

《まちの強みや特性》

- ・ 地域の安心・安定
- ・ 地域環境の健全
- ・ 健康な街
- ・ 経済活性化

外からの人材集約に
魅力を発揮するK市！

《まちのキャッチフレーズ》

「おいで！住んで！K市で！」一様々な人が集う，元気で活気あるK市—



2-2. ワークショップ

「柏市の重点目標を達成するために、これからの柏市に一番大切だと思うことは何ですか」をテーマに、グループごとに割り当てられた重点目標1～3（※）について、各自の意見を書き出し、グループ内で発表し合いました。

（※）柏市第五次総合計画に掲げる将来像の実現に向け、まちづくりにおいて基本的・重点的に取り組むべき方向性として示している目標。

▶各重点目標から導き出された市民意見のまとめ

	市民意見のキーワード	考察
重点目標1 充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち	子育て環境と子育て支援 教育内容の充実 見守り・仲間・相談 安全・安心 教育の平等	重点目標1の実現には、親子で集う場や子育てサービス・医療体制の整備など地域の子育て環境の充実、教育内容の充実や教育格差の是正、子育て家庭が孤立しないための見守りや相談体制、防犯や交通面での安全が大切と考えられています。
重点目標2 健康寿命を延ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまち	社会参加 自己啓発 医療・介護の充実 外出しやすさ 健康意識 日常生活の豊かさ	重点目標2の実現には、高齢者の就労や地域とのつながりなど社会参加の場づくりに関する意見が多く、また、スポーツや学習などを通じた自己啓発、医療・介護の充実、移動手段の確保などによる外出のしやすさ、いきがいつくりなど日常生活の豊かさが大切と考えられています。
重点目標3 地域の魅力や特性を活かし、人が集い活力あふれるまち	まちのテーマ エリアごとの魅力 往来の活発さ 多様性・多目的 地域活動の活発さ	重点目標3の実現には、転入を増やす取組みや民間の力の活用などまちのテーマ設定に関する意見が多く、また、地域ごとの魅力づくり、市内外の往来の活発さ、多様性があり多目的なまち、地域活動の活発さが大切と考えられていることが読み取れます。

(参考) 各重点目標に対する市民意見

重点目標 1 充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち

- 子ども同士や親子で参加するコミュニティやイベントの充実
- 子育てへの興味関心を高める機会提供、保育園や幼稚園など専門知識のある人と協力した親育て、親子が安心して集える場所（公園、図書館など）
- 育休延長や祖父母の預かりなどの実態も考慮した本当の意味での待機児童ゼロ、保育の充実（施設増、保育士の確保）
- 多様な働き方に対応した子育て環境
- 病児病後児保育など働く親の支援
- 国籍を問わず同様の子育てサービスを受けられる
- 幼稚園や保育園等の内容充実、子どもへの医療の充実
- 産婦人科や小児科、保育園やこども園などハード面（建物）およびソフト面（医者、保育士）の充実
- 医療体制の充実、待ち時間の解消、地域ごとのクリニックの24時間体制構築
- 遊び場、保育、医療体制など市内の地域格差の是正
- 学力の向上
- 幼保小連携による幼児教育
- 公立小中学校の教育の充実
- 教育体制のしっかりした一貫校
- 海外でも通用するような人材を育てるため英語教育の充実
- グローバルな教育
- 国際教育の充実
- 興味のあることや好きなことを深く学ぶ機会
- 教育方針の共有、特化（～ができる子、～が得意な子、～を好きな子）
- 地域での絆の強化・支え合い、郷土愛の醸成
- 地域の多様な人との関わりを通じた豊かな人間関係の構築
- 子どもも親も相談・質問できる環境の提供
- 隣近所のつながり強化による独居老人や子どもの見守り
- 近隣のつながり強化、仲間（同世代、同境遇の）が多く住んでいる安心感
- 子育て世代が孤立しない環境、ネットワークづくり
- ひとり親や外国人の移住者も含め、妊娠出産からの支援体制
- まちや交通機関のバリアフリー化などハード面の充実
- 共働きですっと一緒にいらなくても、子どもにとって安全な環境
- 防犯面の強化

- 犯罪や交通事故の少ないまち，子ども一人や子ども同士が自由に歩けるまち
- 子どもの遊び場や通学時の安全
- 子育ての安心，安全
- 教育格差の是正，学力のボトムアップによる優秀な人材の育成
- 経済格差の子供の学力への影響の軽減，母子父子家庭の増加への対応
- 塾ありきでなく学べる場の提供
- 外国人の増加を踏まえ，学力に差が生じないように，外国人の児童生徒への学習支援
- 家庭の経済状態に依拠しない教育水準の維持
- 若い世代の流入と定着，地域力アップ
- 親，子，孫と世代を超えて住み続けられる魅力

重点目標 2 健康寿命を延ばし，いつまでもいきいきと暮らせるまち

- 高齢になっても働き，収入が確保できる
- シニア層の活躍の場づくり，健康増進
- スポーツ施設を通じたコミュニティ活性化
- 地域の見守り，認知症高齢者や子どもを周りが温かい目で見守り育てる
- 高齢者の居場所づくりと情報提供（就労支援，ボランティアなど）
- 一人暮らし高齢者の生活の見守り生活のサポートや心のケア，孤独死の予防
- 多世代のコミュニティの創設
- 健康で長く働き続けられる人を増やす，孤立する人をなくす
- 様々な人が集まれる場所，交流，イベント
- いつまでも柏で働ける街（大地震に徒歩で帰宅できるまち，職住近接）
- 若い世代とのコミュニケーションの場を増やす，高齢者が生き抜いた時代の話や現代の若者が聞ける機会を増やす，地域（ご近所）での声かけ見守りやイベント交流会の開催
- 高齢者の就業者としての活用，市が市内に職場を誘致し，高齢者の起業を促進，まちなかを再開発して活性化
- 自分らしく，地域と共存できるようなコミュニケーションのとれる場所があれば，楽しく生きていける
- 子どもから老人までが共有できる助け合いのようなつながり，古き良きことを継承し新しく便利なことを伝える
- 認知症予防，図書館の充実
- スポーツ施設の拡充と活用，健康維持，医療費軽減
- 公園や図書館などの公共施設，商業施設の充実

- よく学び、よく遊び、休むための情報作り（環境づくり）、人が成長し街も活性化
- アクティビティの提供 運動、スポーツ、体づくり
- 老若男女活躍できる場の創出、拡大（仕事、起業、スポーツ、音楽など）
- 健康寿命延伸、医療の充実
- 自立の促進、寝たきりでもできることは自分でやるよう促す
- 健康増進・予防医療の推進、寝たきり・痴呆になる前の対応で支出を抑える
- 介護制度の充実、介護する側の支援
- 市内全域の医療施設の充実
- 移動手段の確保、車など出かけられる支援
- 公共の移動交通手段（LRT）の整備
- 市の商業地間のモビリティを向上、時間節約のため情報伝達を詳細化・スピード化、シュリンクシティとして機能の拠点集約も重要
- 定期検診等の補助、病気予防
- 市民の健康をサポート
- お金の知識を広め、市民の生活を豊かにする
- 高齢者がいきがいを持てるように、地域の中での役割を与え、求められる場の構築
- 老後の安心
- 精神的にリフレッシュできる環境づくり、ストレスの緩和
- 現役世代が住みよく働きやすい
- 世代ごとの課題に対応するサポートの充実（子育て、学習、就職、医療、介護など）
- 出産・子育て・教育の安心、女性の雇用・就労の安心
- 手賀沼の市民の憩いの場・観光としての活用を促進、柏市の一番の魅力は自然と都市の境界であること、自然へのアクセスが容易であること
- Information Center などの強化・増設、戸惑いや疑問によって諦めてしまうことがないようにする

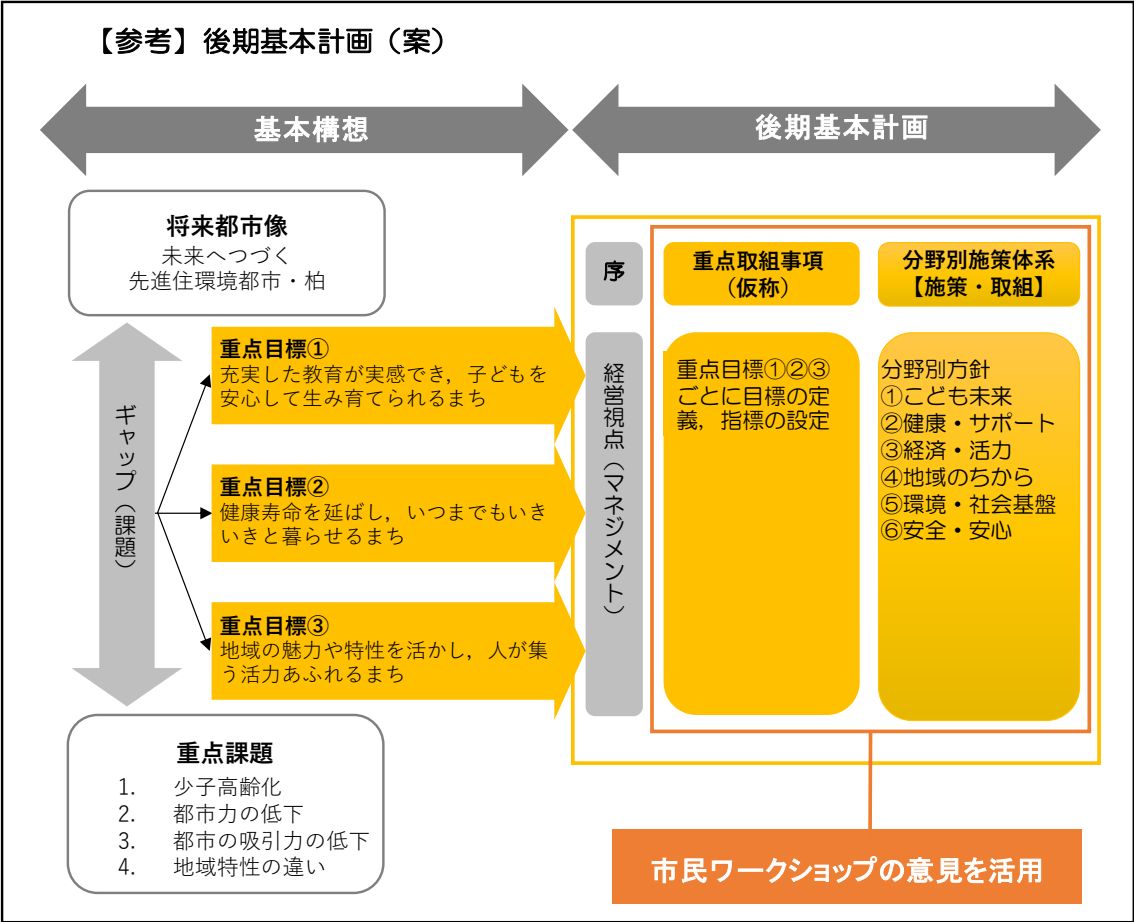
重点目標 3 地域の魅力や特性を活かし、人が集い活力あふれるまち

- 大学等学校を誘致、子育ての充実
- 子育ての環境の充実により、一生住んでみたい人や市外からの転入を増やす
- 柏市の特性により市外から人を呼ぶ、教育の町で国立大を含め学校を増やして柏を学校の町とする
- 教育関連施設（大学等）との連携で街づくりの向上を目指す
- 無計画な街の拡大はしない、選択と集中、新しいインフラ費用×、既存施設の有効活用（リノベーション）、自然保つ

- ・メリハリのある投資と民間企業活動を呼び込む，南部エリアや柏たなか周辺など人口密集地付近の未活用の土地について，規制緩和等により民間企業を誘致する
- ・子どもたちが生き生きとスポーツできるまち，柏レイソルや女子バスケットボール等からスポーツのまちをイメージさせる
- ・すでに良いものは揃っているのでそれをブラッシュアップしていく，発展ではなく充実，茨城や野田に近い環境や手賀沼のある環境を大事にしてアピールする
- ・人が住みやすい住環境の充実（住と農が近い）
- ・職・住・学校・病院が近接した地域の特性を活かしたコンパクトな街とする
- ・老人の買い物や医療などが便利になるまちづくり
- ・安全に歩ける道，人が集うためにアクセスしやすくする，ベビーカーや車いすで出やすい環境，西口も東口もバスへの乗り降りがしづらくデッキからの移動が大変，エレベーターの不足も足かせになっている
- ・市民ワークショップやアンケートを通じた市民意見やニーズの把握
- ・“商都”柏市の特性を活かし続ける，柏駅前再開発の支援，“柏の葉”エリアその他地域とのバランスを考えた施策，駅前デパートだけでなく柏に来たいと思わせる（例：駅前にシネコン等の誘致）
- ・柏駅周辺，柏の葉，沼南いずれも誇れるようなまちづくりをすすめていく
- ・柏の葉エリアは民間の力で益々伸びる，活性化のためには柏駅エリアの活性化が必要
- ・柏駅前の活用，駅前の再開発
- ・大型施設を活用し，駅前でコンサートや音楽イベントなどを実施
- ・駅前の大型施設を有効活用する。誰もが利用しやすい施設とする
- ・交通機関の充実
- ・交通手段確保
- ・便利で生活しやすいインフラが整ったまち（Wi-Fi，道路など）
- ・柏中心部へのアクセス強化
- ・都心，地方へのアクセス（特に電車）の良さを活かした集約力UP
- ・どこにでも出かけやすい交通システム
- ・すべての世代，異文化を持った人々にとって魅力ある街（“住みたい”“働きたい”“学びたい”“産みたい”“人生を終わらせたい”など）
- ・他地域の人が住みたいと思う「まちづくり」，子育て支援だけでなく「活気のあるまち」「自分が老人になっても住みやすいまち」であることが重要
- ・新旧入り乱れた街，老若男女
- ・人通りのあるまち，老若男女いろんな世代が混ざり合って住むまちに
- ・都心から近く手賀沼の観光に力を入れて，憩いの市，自転車ロードを含め，一日ゆったりできる町づくりに力を入れる，手賀沼にボート場をつくる
- ・柏市のシンボル作りで中心部に活力を与える，友人知人を連れて行きたくなる目玉を

- 時間をかけてでも築き上げる
- あらゆる世代が元気で活性化し、柏市に対して何ができるかを考える
 - 公共施設は利用しやすいことが大切、地域のエゴではなく駅前に集約化が必要、コスト削減にもなる
 - 地域のコミュニティで小さい単位で何でも揃う便利な街に、子どもから高齢者が一体となったコミュニティが理想
 - 公共施設の有効活用で活動範囲を広げる
 - 人々が集う場所の充実、町会に一つは空き家を利用したサロンが開ける場所がほしい、子供や一人住まいの高齢者の食堂に利用、いつも開いていて行くと誰かいる場所、おしゃべりする場所、老人を一人にしない町、子供を一人にしない町
 - 市外に向けた情報発信（柏市の場所、歴史や物産のPR）
 - 見知らぬ人でも挨拶できる気持ちがよいまち

本ワークショップでいただいた意見は、第五次総合計画後期基本計画の「重点取組事項」や「分野別施策体系」に活用する予定です。



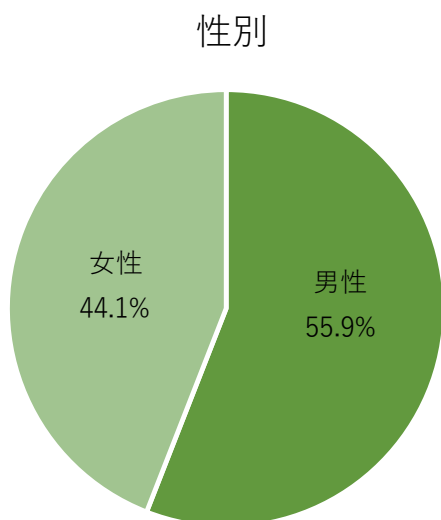
大変貴重な多くのご意見、感想をありがとうございました。
 ワークショップの意見だけでなく、アンケートの感想についても今後の市政に役立てていきます。

2-3. アンケート結果（回答者数：59人）

【参加者自身について】

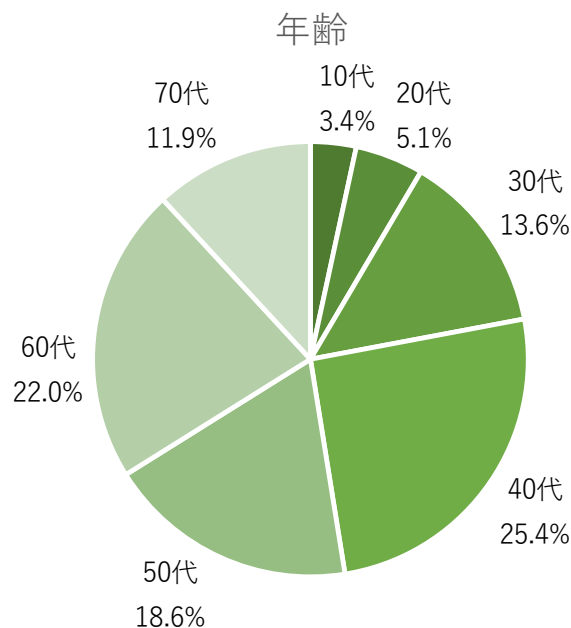
Q1. 性別

男性が半数以上で女性より多く参加しました。



Q2. 年齢

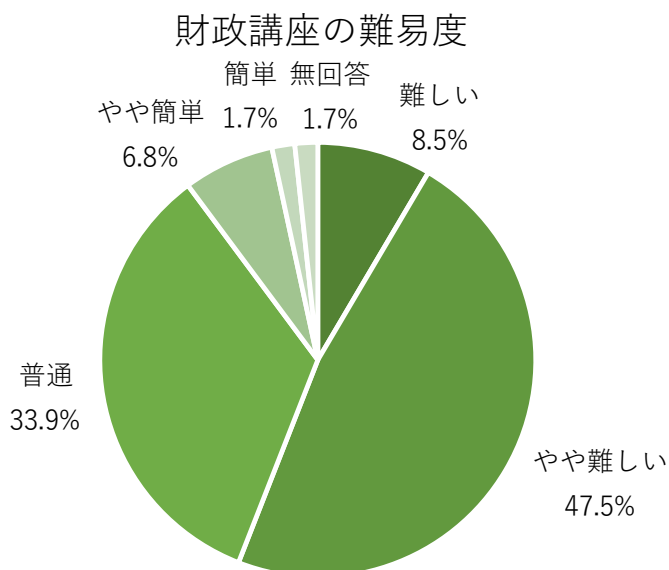
40代・50代の中年層が約4割，60代・70代の高年層が約3割，30代以下の若年層は約2割でした。



【財政講座について】

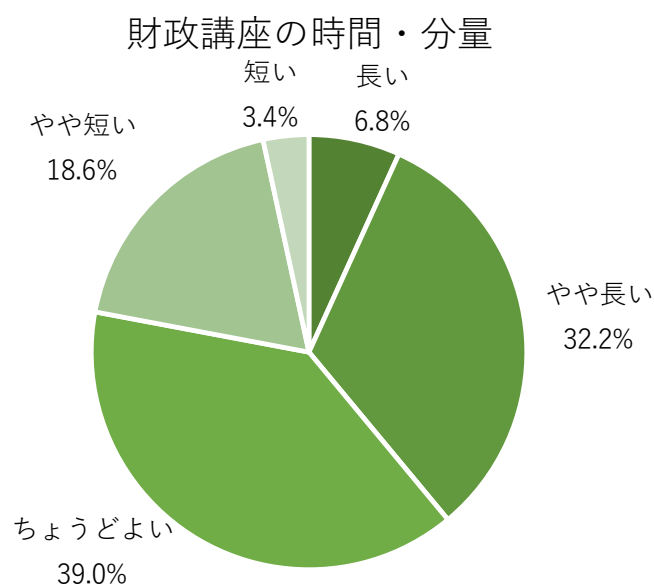
Q1. 難易度

「難しい」「やや難しい」を合計すると半数以上が難しいと回答しています。



Q2. 時間・分量

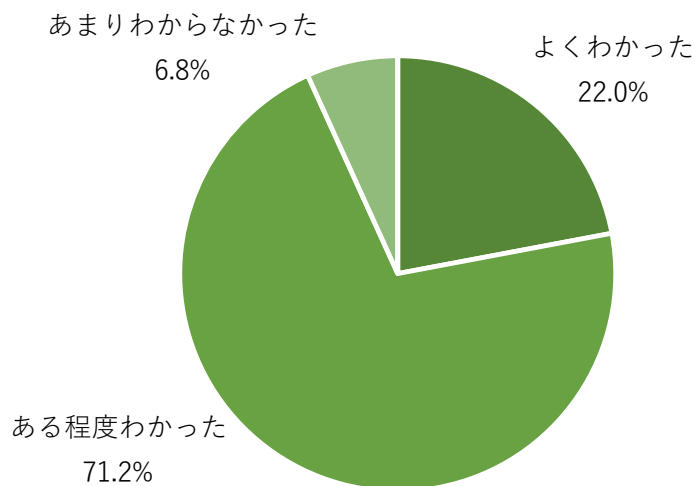
「ちょうどよい」と長い（「やや長い」と「長い」の合計）が約4割で同程度です。



Q3. 理解度

「ある程度わかった」「よくわかった」を合計すると約8割がわかったと回答しています。

財政講座の理解度



【SIMulation2030 について】

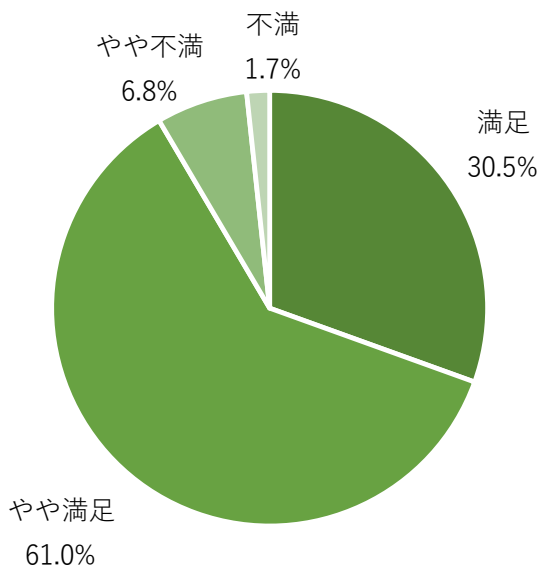
Q1. 満足度

「やや満足」と「満足」を合計すると9割以上が満足と回答しています。

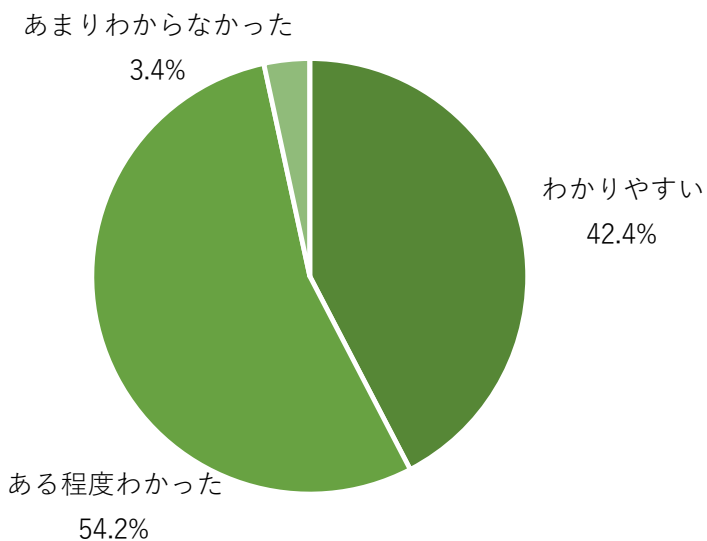
Q2. 説明のわかりやすさ

ほとんどの人が説明はわかりやすかったと答えています。

SIMulation2030の満足度



SIMulation2030の説明のわかりやすさ



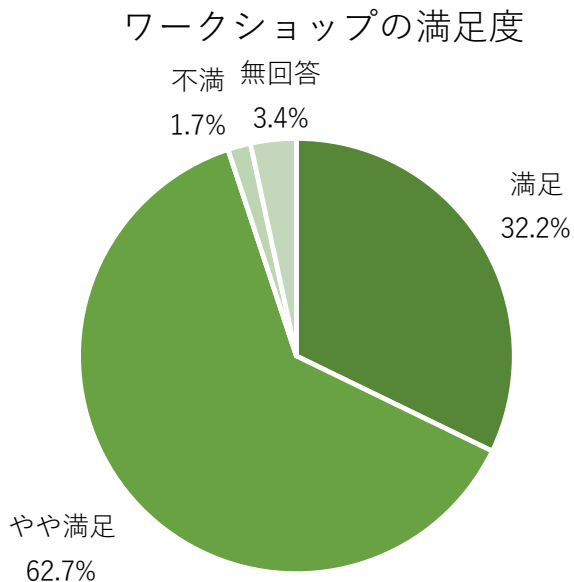
Q3. 自由意見（抜粋）

- 非常に面白かったが、議論を深めるには短かった。
- 説明を行っても納得してもらえないことが多く、行政の大変さを肌で感じた。
- 人それぞれいろいろな考え方があるので、それをまとめることの難しさを実感した。
- 自分の意見をまとめるのが難しかった。
- 新しい事業を行うためには現在行っている事業を廃止、統合するなど数々の話し合いが必要であることに気付いた。
- 若い人と話し合う機会が得られたことが良かった。行政の立場でものを考える機会が得られた。
- 様々な考え方を持った人たちと議論し、聴くことで自分と違った視点があることを知った。
- 貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

【ワークショップについて】

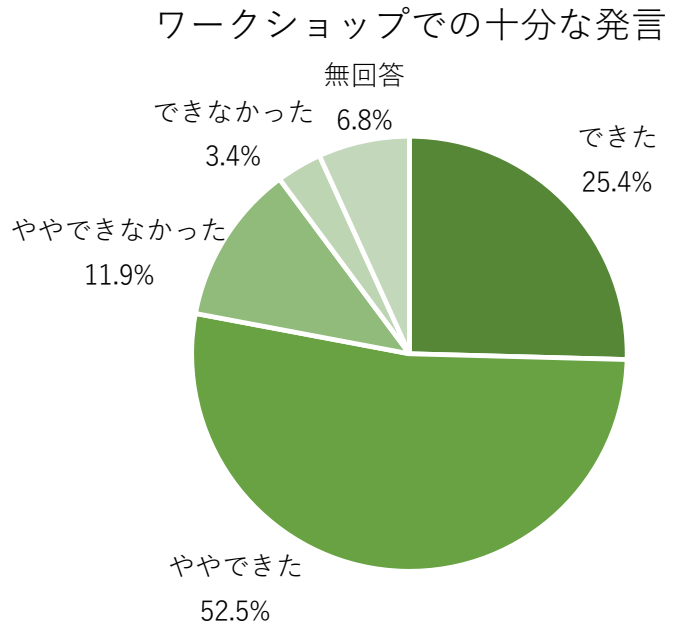
Q1. 満足度

「やや満足」と「満足」を合計すると9割以上が満足と回答しています。



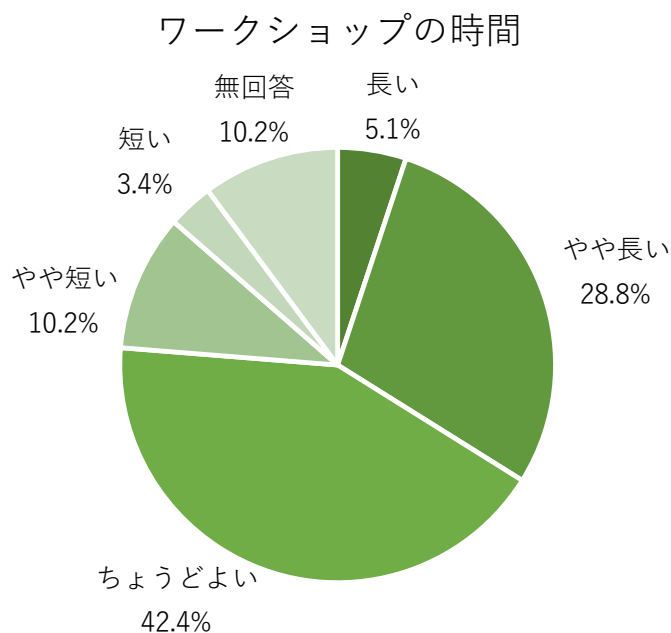
Q2. 十分な発言

自分の意見を十分に伝えることができた人（「ややできた」「できた」の合計）は約8割となっています。



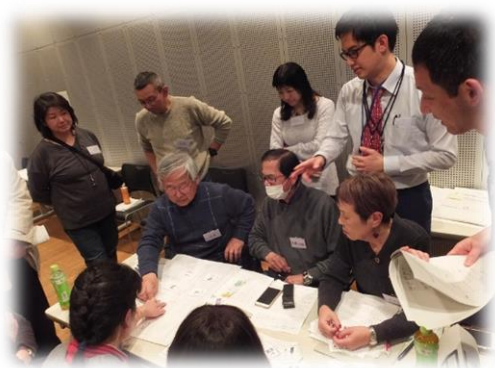
Q3. 時間

「ちょうどよい」が約4割，長い（「やや長い」と「長い」の合計）が約3割となっています。



Q4. 自由意見（抜粋）

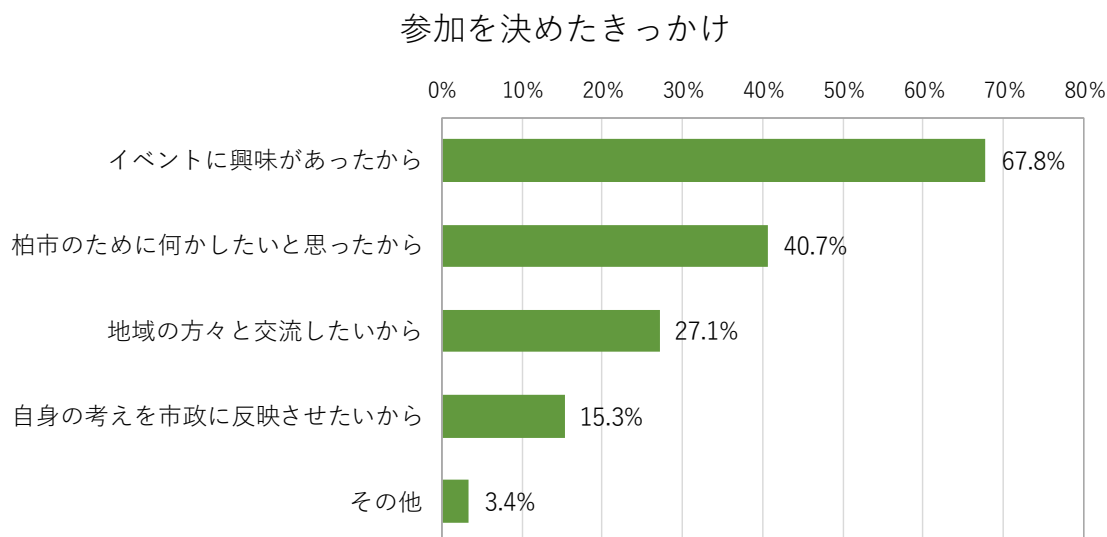
- 時間がやはり短かった。グループメンバーの考えをもっと聞きたかった。
- 他グループの人との意見交換の機会をより多くしてほしい。
- K市ではなく”柏市”としちゃっても面白いのでは。
- いろんな世代，考え方の方と話し合えてよかったです。
- 柏市のことをより深く知ることができ，やりたいこと，希望が見えてきた。



【全体について】

Q1. 参加を決めたきっかけ

「イベントに興味があったから」が約7割で最も多く、次いで「柏市のために何かしたいと思ったから」が約4割となっています。

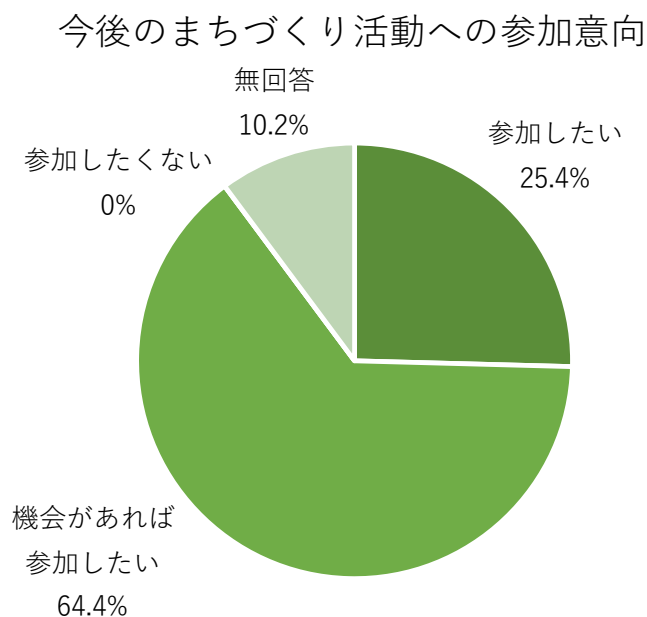


【その他の意見】

- せっかく招待されたので。
- 学生のころ転入以来永年住んでいますが、育った地域でないのでややよそ者感は残り続けていたので。

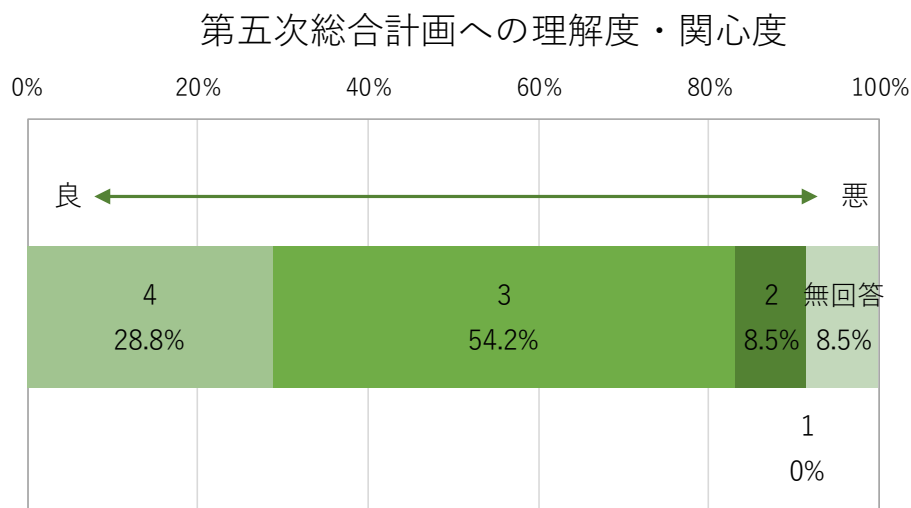
Q2. 今後のまちづくり活動への参加意向

「機会があれば参加したい」と「参加したい」を合計すると9割以上が今後のまちづくり活動への参加意向を示しています。



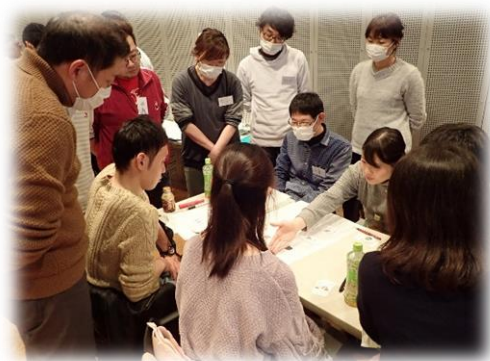
Q3. 第五次総合計画への理解度・関心度

4・3・2・1（良←→悪）の3が半数以上、4および3を合計すると8割以上が第五次総合計画への理解度・関心度を「良」と回答しています。



Q4. 自由意見（抜粋）

- 長いかとも思いましたが、生まればあつという間でした。柏市についてこれからもっと考えていきたいと思ひます。
- 日曜日に開催してくれたことで、参加のハードルが下がっていると思ひます。日程はベストなので、今後も土日に開催していただくと幸いです。
- グループメンバーに男女比や年齢に偏りなく降り分けた方が意見が偏らないのでは。
- 中学、高校や大学などでも、同じようなことをやらせてもらえれば、若い人の意見が反映されると思ひます。
- 今回ご招待いただいたことで、第五次総合計画を知りました。それぐらい、市民に浸透していないのではと思ひます。こういう機会が増えるといいと思ひます。
- これからも良い町づくりにガンバってください！



“柏の未来”を一緒に考えよう！
市民ワークショップ アンケート

本日は、柏市市民ワークショップにご参加いただき、誠にありがとうございました。
次回の参考にさせていただくため、アンケートへのご協力をお願いいたします。
該当する項目に☑をお願いいたします。

あなたについてお教えてください

Q1. 性別についてお教えてください（単一回答）

男性 女性

Q2. 年齢についてお教えてください（単一回答）

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代

財政講座について

Q1. 難易度についてお聞かせください（単一回答）

難しい やや難しい 普通 やや簡単 簡単

Q2. 時間・分量についてお聞かせください（単一回答）

長かった やや長かった ちょうどよい やや短かった 短かった

Q3. 柏市の財政状況への理解度についてお聞かせください（単一回答）

よくわかった ある程度わかった あまりわからなかった 全然わからなかった

SIMulation2030 について

Q1. SIMulation2030 を体験した満足度をお聞かせください（単一回答）

満足 やや満足 やや不満 不満

Q2. SIMulation2030 の説明はわかりやすかったですか（単一回答）

わかりやすかった ある程度わかった あまりわからなかった わかりにくい

Q3. SIMulation2030 について自由に感想をお聞かせください（自由記入）

ワークショップについて

Q1. ワークショップの満足度をお聞かせください。（単一回答）

満足 やや満足 やや不満 不満

Q2. ワークショップではご自身の意見は十分に伝えることができましたか（単一回答）

できた ややできた ややできなかった できなかった

Q3. ワークショップの時間についてお聞かせください（単一回答）

- 長かった やや長かった ちょうどよい やや短かった 短かった

Q4. ワークショップについて自由に感想をお聞かせください（自由記入）

全体について

Q1. 本日、参加を決めたきっかけをお教えてください（複数回答可）

- イベントに興味があったから 自身の考えを市政に反映させたいから
柏市のために何かしたいと思ったから 地域の方々と交流したいから
その他（ ）

Q2. 今後、柏市のまちづくり活動に参加したいと思えますか（単一回答）

- 参加したい 機会があれば参加したい 参加したくない

Q3. 柏市の第五次総合計画への理解度・関心度を4段階評価でお教えてください（単一回答）

良 ●————● 悪

- 4 3 2 1

Q4. 全体を通じてご意見・ご感想がありましたらお聞かせください（自由記入）

ご協力ありがとうございました。

3. ワークショップの資料

3-1. 資料①募集チラシ（オモテ面）



柏市
KASHIWA CITY

“柏の未来”を一緒に考えよう！

—市民ワークショップ参加者募集—

2020. 2/16 (日) 場所：アミューゼ柏 プラザ
募集人数：100人程度

13:00-17:30 (開場 12:30)

まちづくりシミュレーションカードゲームを通じて、自治体運営を体験し、ONE TEAM（ワンチーム）で柏の未来をつくろう！

柏市では現在、第五次総合計画*の次期基本計画の策定に取り組んでいます。
皆さんと共に進める計画とするため、今後の課題にいかに対応するか、柏市 ONE TEAM（ワンチーム）で、一緒に解決方法を考えましょう。

申込方法

募集締切：令和2年1月14日（火）必着

応募方法：同封の参加申込書の下側半分を切り取り、同封の返信用封筒にてご返送ください。なお、ご応募は宛名のご本人様のみとなります。応募者多数の場合には、抽選とさせていただきますのでご了承ください。
*参加が決定した方には、後日招待状をお送りいたします。

託 児：15人程度（参加申込書にて事前にお申し込みください。）

(ウラ面)

当日の流れ

- 13:00 開会・挨拶
- ★ オリエンテーション
- ★ まちづくりシミュレーションカードゲーム (SIM2030)
- ★ グループワーク
- 17:30 閉会・挨拶



まちづくりシミュレーションカードゲーム (SIM2030)

仮想自治体が直面する2030年問題（人口減少、高齢化による税収の減少や社会保障費の増大等）に対し、自治体としてどのように課題を解決するか、チームメンバーとの対話を通じて「まちの未来」を考えます。カードを用いて楽しみながら自治体運営を体験します。

※総合計画とは

総合計画とは「**柏のまちづくりの羅針盤**」となるものです。

市民・企業・学校・行政がまちづくりの方向性を共有することで、進むべき方向に向かって必要となる取組や事業を計画的かつ戦略的に推進できるようまとめた計画です。

総合計画は「基本構想」と「基本計画」で構成されています。基本構想はまちづくりの方向性・考え方を示し、基本計画は、基本構想を実現する具体的な手段を示すものです。

基本構想は平成28（2016）年度から10年、基本計画は前後期に分けた各5年となります。

この前期基本計画が令和2（2020）年度末に期間満了を迎えることを受け、柏市では現在、後期基本計画（2021～2025年度）の作成を進めています。

《総合計画の分野》

こども未来	健康・サポート
経済・活力	地域のちから
環境・社会基盤	安全・安心

お問い合わせ

柏市役所企画部企画調整課
担当 町田・飯塚
04-7167-1111（代表）
04-7167-1117（直通）



3-2. 資料②招待状

(オモテ面)

Greetings

市民ワークショップ in Kashiwa

～ご招待について～

皆様ますますのご清栄のことと存じあげます。

この度は、「市民ワークショップ in Kashiwa」にお申し込みいただき、
誠にありがとうございます。

下記のとおりご案内いたしますので、
ご確認の上ご参加いただきますようお願い申し上げます。

当日はリラックスした雰囲気
気軽にお話ができる空間を準備しております。
皆様にお会いできることを心より楽しみにしております。

柏市 企画調整課

【詳細】

日時 令和2年2月16日 (日) 13時00分～17時30分
(12時30分から受付開始)

会場 アミュゼ柏 プラザ (1F)
柏市柏6-2-22

持ち物 招待状 (本書)

【お問い合わせ先】

柏市企画部企画調整課 電話 04-7167-1117 (直通)

(ウラ面)

【その他】

- 悪天候（災害等）による事前の中止につきましては、
2月14日（金）午後市ホームページでお知らせします。
（柏市HPトップ→組織→企画部→企画調整課をご覧ください）
- お荷物、貴重品をお預かりすることはできかねますのでご注意ください。
- 会場の改装工事のため当日は暖房が効きません。ご迷惑をお掛けしますが、暖かくしてお越し下さい。※石油ストーブを設置いたします。

【お願い】

当日は開催の様子を撮影させていただきますので、ご協力お願いいたします。ご不都合等ございましたら、当日受付にてお申し付けください。当日の流れについては同封した資料にてご確認ください。



J R・東武柏駅東口より徒歩7分